

3 DA モデル設計から金型製造

工学部技術・経営工学科 金型設計製作技術研究室

応用が想定される領域

プラスチック製品製造

金型製造

課題と背景、解決方法

プラスチック製品製造技術及び金型製造技術は、基盤技術としてモノづくり日本を支えてきました。しかし、急速なデジタル製造技術の進展により、混迷を極めています。本研究室では、3次元CADによる新たな設計技術（3DAモデル等）、それに基づいたデジタル製造技術（AM等）により次世代金型の創出を目指しています。

メリット

コンカレントエンジニアリング

Q（品質）・C（コスト）・D（生産期間）の実現

特許申請の予定なし

学術論文

3次元CADと3Dプリンターを活用した製品設計に関する実践研究, 2020

デジタル製造技術による射出成形金型の設計製作, 2020

3DAモデル(3D Annotated Model)による製品設計の評価, 2022

3DAモデルを利用した射出成形金型設計教材の開発, 2023

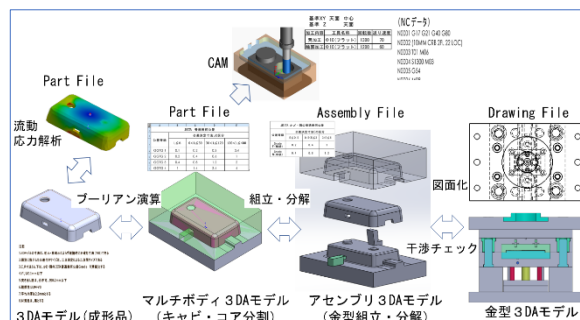
キーワード

3DAモデル設計, デジタル製造技術, AM (Additive Manufacturing : 付加製造技術)

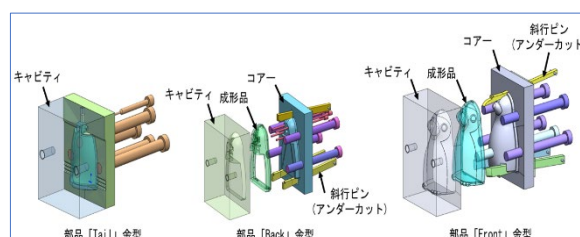
問合せ先

地域連携キャリアセンター 電話 0256-47-5513 mail innovation@sanjo-u.ac.jp

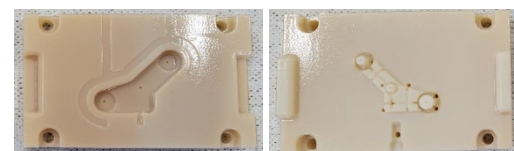
2410 ver.1.0



コンカレントエンジニアリング



一気通貫かつ同時並行作業



成形品(上)・樹脂造形金型入れ子(下)